

清水小学校だより 12

令和5年7月21日

文責：藤芳 秀樹

教育目標 「いいね」で認めあい、支えあい、伸ばしあう学校

21日には終業式や大掃除などを行い、1学期が終了しました。子どもたちは大きな事故もなく、様々な活動を行うことができました。これも皆様にご理解とご協力をいただいたおかげです。深く感謝申し上げます。

👉終業式ではこんなことを伝えました👈

今日で1学期が終わります。4月の始業式で、校長先生は2つのお話をしたことを覚えていますか。

一つ目は「あいさつ日本一になろう」です。4月、あいさつをしてくれない人がいました。恥ずかしいのかな？と思っていると、ある日、お辞儀だけしてくれました。数日後には小さな声であいさつも。うれしかったですね～。この人だけではありません。みんなの「あいさつをしよう」という心がけが変わったと思います。

二つ目は、「【いいね】をたくさん見つけて、支え合いましょう」でした。1学期はいろんな活動がありました。運動会での協力。人権旬間で自分の心を点検したこと。もっとよい学級にするための話し合い。…それらを通して、いろんな教室や廊下で仲良く過ごす姿、「〇〇するといいわ。」「一緒にしよう。」とやさしく声をかける姿がたくさん見られました。これもうれしかったです。

みんなのがんばりは、担任の先生からも聞いています。

1年生からは、「給食で苦手なものが出て、時間内に食べようと挑戦していますよ。日直さんが大きな声で号令をかけてくれます。かたづけが上手になりました。」など。

2年生以上も、「自分の場所以外も進んで掃除していました。高学年らしく無言掃除ができています。時計を見て行動しています。友だちの「いいね」をたくさん教えてくれます。歴史を詳しく調べて自学ノートをよくやっています。進んでボランティアをしてくれます。音読が上手になりました。失敗しても負けずにそのあと努力していました。元気に運動しています。」など。

みんなのがんばり、いいねをたくさん聞くことができました。清水っ子全員が成長した1学期でした。

そして、明日から夏休みです。みなさんは楽しみですか？

夏休みは家庭や地域で生活することになります。せつかなので、特に二つのことをがんばってほしいなと思います。

一つ目は「自然に親しむ」ということです。海や山に出かけなくても、自然は身の回りにあります。今はセミの声が聞こえますね。朝のおいしい空気を吸う、毎日アサガオに水をやる、空を見て動物の形をした雲を写真に撮る、星や夕陽を見る、虫を育てる、ツバメの寝床を観察、科学展の研究…私は自然が大好きです。みんなも自然のよさをいっぱい味わってほしいです。

二つ目は「自分で考えて行動する」ということです。

夏休みは自由な時間が増えますが、その分、「していい事といけない事」を自分で考えないといけません。もちろん、自分の命は自分で守ります。

充実したよい夏休みにするにはどうしたらいいか？社会のルールやマナーに違反していないか？危なくないか？人を傷つけたり、迷惑をかけたりしていないか？人から注意される前に自分でよいことに気づき、考え、行動してください。

夏休みが充実してよいお休みとなることを願っています。そして、2学期にまた元気な顔とあいさつで会いましょう。

すばらしい発表でした

感染防止のため、終業式はリモートで行いました。そして、2人の児童が代表で作文発表をしました。

1学期のがんばったこと、夏休みへの期待、自分の夢に向けて努力することなど、しっかりした内容の作文でした。発表の様子も堂々としたもので、カメラを見ながらはっきりと話し、高い表現力を感じました。



大掃除もがんばりました

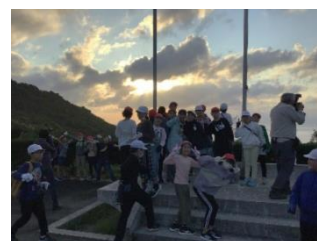
物の景や窓など、隅々まできれいにしていました。お世話になった校舎への感謝を表していました。



集団宿泊教室

7月10日(月)～12日(水)、5年生は集団宿泊教室で天草に行ってきました。

2泊3日で、オリエンテーリングやナイトハイク、ペーロン船…たくさんの体験をしました。また、自分たちでシーツをしいたり、食事の準備をしたりと共同生活を味わいました。中にはきついことや集団で行う苦労もありましたが、互いに声をかけあい、助け合いながら、立派に過ごせました。たくましくなって帰ってきた5年生でした。



個人情報保護のため、写真は鮮明度を落として掲載しています